

ロータリー情報委員長 内田リカコ

平井会長より、ロータリー情報委員長として、入会後日の浅い会員さま向けのロータリー情報を提供してほしいとのご依頼で、お話をいただきました。

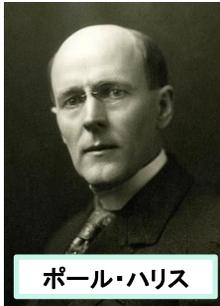
ロータリークラブはそもそもアメリカからやってきたもので、ローマ字の単語も多くわかりにくいとは思いますが、まずは「**ロータリー用語便覧**」
<http://rotaryclub2650japan.org/word/>のご紹介をさせていただきます。先ほど、グループLINEにサイトを掲載しておりますのでそちらをご確認ください。

また、ロータリーについて、非常に多くに情報を得る方法として、「**MY ROTRY**」の登録をお勧めいたします。WEBでMY ROTARYにアクセスいただいて、事務局にご登録いただいておりますメールアドレスを登録して、ご利用ください。

【ロータリーの始まりは4人】

ロータリアンとして、この人の名前だけは覚えておかななくてはならないのが、**ポール・ハリス**、ロータリーの創始者です。

彼は、1905年2月23日、3人の友とシカゴの中心街の友人の事務所集会所を開きました。これが、世界初のロータリーの例会です。



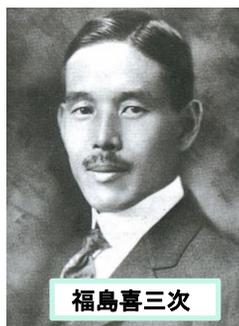
ポール・ハリス

彼らが**ロータリーを創った理由**、それは、急速に発展する経済社会の「騙す者より騙される方が悪い」といった商業道徳の欠如した風潮を憂い、「**公正な取引**」ができる信頼できる相手を親友関係にまで発展させることのできる仲間を増やしたかったからだといわれています。また、**ロータリーの名前の由来**は、集会所を各自の事務所を「持ち回りで(rotary)」開催したからとのこと。

日本に最初のロータリークラブができたのは、1920年(大正9年)。のちに「米山奨学金」の名前の由来ともなる**米山梅吉**が初代会長、日本人初のロータリアン(在米中、ダラスロータリクラブに所属)であった**福島喜三次**が初代幹事を務めた**東京ロータリークラブ**の誕生です。2番目は大阪RC、3番目は神戸RC、4番目は名古屋RC、5番目は京都RCです。



米山梅吉



福島喜三次

日本にロータリーがやってきて間もない1923年9月1日、**関東大震災**が起こります。地震発生の3日後には、国際ロータリーからお見舞いの電報が届き、10日にはサンフランシスコRCから1,000ドル、11日にはニューヨークRCから1,000ドル、16日にはRIから25,000ドル、最終的に世界のRCから42,000ドルの義捐金が寄せられました。当時の電信事情、世界情勢に鑑みれば、世界の東の果ての国にすごい速さですごい金額の義捐金が届けられたことに驚くばかりです。第2次世界大戦の影響で1940年国際ロータリーを脱退、1949年に復帰するまでの間も例会は続けられており、敵国から来たロータリーへの風当たりを避けるため、例会場には「日の丸」掲揚し、「君が代」を斉唱するようになったとのこと。現在、日本には、約2,300のクラブがあり、会員数は9万人前後で推移しています。世界には、約35,000のクラブ、およそ120万人の会員登録があるそうです。

世界のロータリーの出来事で注目されるのは、シカゴロータリーの設立2年目から**初の社会奉仕活動として公衆便所設置運動**が展開され、さらに2年後に公園に公衆便所が設置されたことです。今でこそ、ロータリーは奉仕団体として認識されていますが、当時は「正当な取引」を目的とする職業人の集まりの色合いが濃く、社会奉仕活動を始めたのは大きな岐路であったように思います。

ロータリー財団の基となった「ロータリー基金」は1917年に設立。**アーチ・クランフ**がクラブからもらう記念品を辞退し、そのお金をもとにみんなに寄付を呼び掛けたことに始まります。



アーチ・クランフ

もう1点、ロータリーに**女性会員**が認められたのは1989年、たった33年前のことです。今でも、女性会員は世界でも25~30%弱、日本では5%程度です。わが桜井ロータリークラブは、15人中4名が女性で26.7%、小さなクラブですが、これは世界水準です。

ここからは「**ロータリーの基本理念**」について、ご紹介させていただきます。以下はMy Rotaryや概況報告書の裏表紙に掲載されておりますので、是非一度ご自身で調べてみてください。

【**ロータリーの目的**】は、「奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」で、具体的には4つの項目を奨励することですが、注目したいのは第2項目の「ロータリアン**各自の職業**を高潔なものに」、第3項目の「**ロータリアン一人一人**が、個人として、また事業および社会生活において」、第4項目の「奉仕の理念で結ばれた職業人が」という文言で、この辺りが**ロータリークラブとライオンズクラブの違い**でよく言われるところの、**ロータリーは「I serve」、ライオンズは「We serve」とか「ロータリーは職業奉仕、ライオンズは社会奉仕」といわれる所以ではないかと思えます。**

【4つのテスト】は『1. 真実かどうか
2. みんなに公平か3. 好意と友情
を深めるか4. みんなのためになる
かどうか』でロータリーソングに
もなっています。これは、倒産寸前
だった会社の立て直しを頼まれた



ハーバート・テイラーが、宗教も理
念も違う社員たちをまとめていくの
に用いた標語で、実際にとても効果
があったものだそうですが、1954
年、彼がRIの会長に就任した時に
著作権をRIに移譲しています。

【ロータリアンの行動規範】は、今
まで4項目でしたが、2019年1
月に「ハラスメントのない環境維
持」の項目が追加されました。

【中核的価値観】は「親睦」「高
潔性」「多様性」「奉仕」「リー
ダーシップ」です。「中核的価値
観」はとても難しい言葉ですが、
私の個人的解釈ですが、要するに
、「ロータリーが今までもこれからも
ずっと大切にしていける大切なもの
」という意味だと思います。「親友
を求めて(親睦)」創設された社交
クラブが「高い職業倫理(高潔性)」
でつながる、「様々な価値観を持つ
人たち(多様性)」と「奉仕」活動
を展開し、その中で「新しいリー
ダーを育て、自らもより良いリー
ダーに」なるために研鑽を重ねる
のがロータリーなのだと思います。

奉仕活動の種類分けとして**【五大奉仕】**
=「クラブ奉仕」「職業奉仕」「
社会奉仕」「国際奉仕」「青少
年奉仕」があります。このうち「
クラブ奉仕」「社会奉仕」「国際
奉仕」「青少年奉仕」の4つは、
奉仕の前についている文言の「～
に対する奉仕」という理解で良い
と思われそうですが、「職業奉仕」
だけは「職業を通じて」する奉仕
と考えられます。ここでもまた、
ロータリーは「一人一人が自らの
職業を通じてする奉仕」である、
「職業奉仕、I serve」の団体
であることが思い起こされます。
私は、これからのロータリーでは、
一つの事業がいくつもの活動分野
の局面を持ち合わせるような事業
をすることが求められていると考
えています。

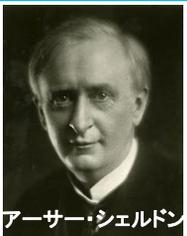
さらに、これらの奉仕活動にお
ける活動の柱は**【重点的活動分野】**
です。これも今までは、「平和の
推進」「疾病との闘い」「水と衛
生」「母子の健康」「教育の支
援」「地元経済の成長」の6つ
でしたが、先日、地区国際奉仕委
員会での松原ガバナーからの情
報によりますと、「環境保全」の
項目が加えられ、7つになったと
のことです。重点的活動分野に
則した活動であれば、ロータリー
財団の補助金を得やすいことは
もとより、ロータリーの本旨に
則った活動ができると考えられ
ます。

【ロータリーの2つの公式標語】

**「超私の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く
報いられる」**です。

いずれもロータリー創設期の1911
年の第2回のロータリーの年次大
会でアーサー・フレデリック・
シェルドンによって提唱されたも
ので、1950年に正式標語とさ
れ、1989年に「超私の奉仕」
が第1標語に決められました。

それぞれの意味は、ざっくり
申し上げれば、「自分さえよければ
よいのではなくて、他人のことを
考えて奉仕すること」、「奉仕
することで自分自身が報われる」
って感じの意味だと思っ
てのことはと思いますが、大変奥
の深い標語ですので、会員の皆
さまがそれぞれにお考えを深
めていただくのが良いのでは
ないでしょうか。



【国際ロータリーが推進するDEIとは？】

D=Diversity(多様性)

E=Equity(公平性)

I=Inclusion(包含・包摂)

あくまでも私個人の解釈ではあり
ますがご参考までにお伝えさ
せていただければ、D(多様性)
は人種、性別、障がい者、子
ども、高齢者等、様々な立場
の人々がいることを認め、E
(公平性)すべての人々に公平
に権利が認められ、I(包摂)
それらの人々が当然に社会の
一員として存在する社会を
目指そうということだと思います。



【桜井ロータリークラブ】

1975年7月2日「仮桜井ロー
タリークラブ」として発足、
8月7日 認証、翌年5月16
日に加盟認証状伝達式、今年
度は設立47年目になります。
設立時ガバナーは元RI理事
の千玄室パストガバナーです。

以来、様々な活動を行って
きておりますが、約10年前
には会員数が4名になってしま
ったこともあっております。
数々の企業訪問を始め、コ
ロナ禍で継続できておりませ
んが、「異業種交流会」も実施
致しました。桜井市立図書館
への図書寄贈は累計で6,000
冊を超えています。コロナ対策
として手指消毒用アルコール
噴霧器を桜井市内の学校を
はじめとする各施設に寄贈。
コロナ禍で中止となっております
が、桜井高校イギリス短期ホ
ムステイ派遣事業も5年にわ
たり実施。ラオス住血吸虫症
撲滅活動やレイテ島台風被災
地校支援事業など海外での
国際奉仕活動も積極的に取
組んでいます。桜井ロータリー
杯学童軟式野球大会も今年
度は8回目。国際大会へも、
毎年多くの会員が参加して
います。

【私がロータリーライフで大切にしているもの】

- ★違った価値観との出会い
- ★丸ごと受け入れる柔軟性(やわらかい心)
- ★新しいことへのチャレンジ
- ★変わることを恐れない
- ★今あるものへの感謝
- ★友への敬意と尊重
- ★自分が誰かの役に立てることの喜び

【ロータリーで出会えた子どもたち】

